

社会医療法人 三宝会

北加賀屋 1 丁目のつるさんかめさんの家

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【平成 2 8 年度】

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」

総括表・・・・・・・・・・2 枚（A～F）



1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー

末廣恵・浅野吉子・太田梨紗・川浦明弘
篠田和代・京極一枝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1	5			6
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		5	1		6
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	1	5			6
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	5			6

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・管理者が情報収集した内容を、全スタッフに書面や口頭で伝え情報共有できるようにしている。
- ・支援を開始した直後は、全スタッフがこまめに声掛けをおこない本人様の言葉を傾聴するようにし、新たに得た情報を引き継ぎノートや介護日誌に記録しスタッフ間で情報共有できるようにしている。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・初期相談（希望や要望）についてパートスタッフに発信できていないことがある。（決定した内容でないことから、常勤職員で相談することが多い）
- ・まず必要としている支援は可能な限りおこなっているが、希望・要望する支援内容や時間帯によっては本人様・家族様と相談して時間調整をすることがある。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

- ・初期支援時や支援開始後に、全スタッフが集まりミーティングをおこない、利用者様の基本情報や希望・要望する支援内容を検討し、利用者様に必要な支援を見極め、本当に必要な支援に関してはおこなえるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 30 日 (17:00 ~ 19:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 末廣恵・浅野吉子・太田梨紗・川浦明弘
篠田和代・京極一枝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	5			6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	5			6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		5	1		6
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	4	1		6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・プラン内容や日々の関わりの中で利用者様から伺った希望を情報共有し目標を把握して支援している ・家族様や本人様と面談し～したいことを把握し、支援内容を決めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・連絡ノートや介護日誌、口頭での申し送りで利用者様の目標を把握することが多く、プラン (計画書) をスタッフ全員がみていないことがある。 ・介護経験が浅く、ミーティング時に発言が控えめになり、実践した内容を皆で振り返る為の意見をあまり言えていないことがある。 ・「～したい」目標をあまり分からないまま関わっていた。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ミーティング時に、プラン (計画書) を全スタッフがみて内容を把握できるようにし、スタッフ一人一人が実践した中で、感じたことを気軽に発言し、次の対応にいかせるようにする。又、ミーティング以外でも意識して書類をみるように意識する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 29 年 1 月 30 日 (17:00 ～ 19:00)
3. 日常生活の支援	メンバー (常勤) 末廣恵・浅野吉子・太田梨紗・川浦明弘 (非常勤) 篠田和代・京極一枝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	1	3	2		6
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	3	1		6
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	4	1		6
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	3			6
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	3			6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・日々の関わりの中で、利用者様の体調変化や気持ちの変化に気づいた時には、スタッフ間で情報伝達おこない体調不良時の場合は看護師に相談し、必要に応じてかかりつけ医に相談し、支援内容を臨機応変に変更している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・かかわりの中で以前の暮らし方を知っていることもあるが、今まで意識して考えていなかった為、10 個以上把握できていない。 ・入浴介助に関して関わりが少ない為、あまりできていないと判断した。 ・②番の項目で、基本的な介護はできていると思うが、身体状況の重たい方がこられた時に経験が少ない為、不安がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・利用者様の以前の暮らし方を全スタッフが意識してコミュニケーションをはかる。又、暮らし方シートを全スタッフで記入するようにし、以前の暮らしと、支援している現状の暮らしが把握できるようにする。 ・経験の浅いスタッフが不安を感じないよう、実技形式の研修を実施する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 1 月 30 日 (17:00 ~ 19:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	(常勤) 末廣恵・浅野吉子・太田梨紗・川浦明弘 (非常勤) 篠田和代・京極一枝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	5			6
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		3	3		6
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6			6
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	2	2	6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人様・家族様・近隣の方から可能な限り話を伺うことで生活リズムや、地域での交流関係を把握できるようにしている為、スタッフがかかわっていない時間帯のすごしかたも知る事ができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・スタッフによって支援内容（訪問サービス）等をおこなわないこともあり、家族様とのかかわりがない ・スタッフによっては地域の役員さんと交流をはかる機会がなかった。 ・地域にある資源すべてを把握しきれていない。（利用者様の行きつけの店等は知っている） ・今の暮らしに必要な民生委員・地域資源を意識していなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・本人様に関わりのある家族様や地域住民の方、民生委員さん、地域資源の情報を全スタッフが把握できるように情報収集した書式を作成し会議等で閲覧し意見交換できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 30 日 (17:00 ~ 19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー (常勤) 末廣恵・浅野吉子・太田梨紗・川浦明弘
(非常勤) 篠田和代・京極一枝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		1	2	3	6
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	4			6
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	2			6
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	2			6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・毎朝の申し送りや引き継ぎノート、介護記録等、本人様からの要望に合わせて支援内容（通い・訪問）を臨機応変に変更して対応することができている。 ・宿泊回数は少なかったが、当日の宿泊希望に対応し支援をおこなえた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者様の活用している地域資源（行きつけの店・近隣住民）を自宅訪問時や、送迎時、外出同行時に対応しているスタッフは道中で挨拶をして顔見知りになっているが、かかわりをほとんどもてていないスタッフもいる。 ・家族様が同居されている利用者様ばかりであったため、スタッフが積極的に地域資源を探すことや、資源を活用できるように支援する機会が少なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・管理者が地域資源の情報収集をおこない、全スタッフと情報共有できる会議の場をもうけ、地域資源とはなにか、どのように活用するべきなのかを検討できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 30 日 (17:00 ~ 19:00)

6. 連携・協働

メンバー (常勤) 末廣恵・浅野吉子・太田梨紗・川浦明弘
(非常勤) 篠田和代・京極一枝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1			5	6
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?			2	4	6
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	2	2	1	6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	5			6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・隣が小学校であり下校時や休みの時に子供が遊びにきた際には利用者様と楽しく交流が保てるように支援している。(おやつ作り・宿題見守り・輪投げ・折り紙作成等) ・利用者様の知人が訪ねてこられた際に、フロアーで談話できるように声掛けをしている。 ・月に 1 回、ニコニコ食堂(子供食堂)開催の場所提供をおこなっており、開催時には子供さんや町会役員さんが来訪しており、交流をはかることができている。 ・地域の運動会や夏祭り(獅子舞見学)、防災訓練等に年数回ではあるが参加できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・医療機関や福祉用具等の会議については主に管理者兼介護支援専門員 1 名が関わり参加した内容を全スタッフに伝達している為、その他のスタッフが参加できていない。 ・地域各種のイベント参加について勤務状態で参加できるスタッフとできないスタッフの差がある。 ・町会の会議等について管理者が把握している場合もあるが、他のスタッフに伝達していなかった為、会議の開催自体を知らないことがある。又、管理者自身も家庭の都合で夜の会議等に参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・自治会や地域包括支援センターでおこなう会議内容を事前に把握して参加できるようにする。又、地域の活動やイベントに全スタッフが年間を通じてなんとか参加できるように勤務日の調整等をおこなう。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 30 日 (17:00 ~ 19:00)

7. 運営

メンバー (常勤) 末廣恵・浅野吉子・太田梨紗・川浦明弘
(非常勤) 篠田和代・京極一枝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	4			6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	5			6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?			6		6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1		3	2	6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者様や家族様からの意見があればスタッフ間で情報共有し、改善できるように対応している。 ・民生委員さん主催の子供食堂を開催するための場所提供をおこない、地域活動に共に協力できる取り組みをおこなっている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・運営推進会議等で地域役員さんからの意見を伺う機会はあるが、スタッフによっては参加したことがなく、会議の内容等を把握できていない。 ・地域の方が気軽に意見や苦情を伝えていただけるだけの交流を築けていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
スタッフ全員が 1 回は運営推進会議に参加し、地域の方からの意見を聞き、事業所の運営に関する共通の意識をもち、地域に必要とされる拠点になるための取り組みを少しずつおこなっていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 30 日 (17:00 ～ 19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー (常勤) 末廣恵・浅野吉子・太田梨紗・川浦明弘
(非常勤) 篠田和代・京極一枝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	4	1		6
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		4	2		6
③	地域連絡会に参加していますか		1		5	6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	3			6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・研修に関しては開催案内を見たり、自身で調べたりしてなるべく参加できるようにシフトを調整している。又、参加した研修に関しては研修内容記録を作成し、他のスタッフにも研修内容を伝達している。 ・利用者様の身体状況の変化を話し合い、事故が起きないように関わるスタッフが注意している。又、ヒヤリハットの記入をおこない同じことがおきないように意識して支援をしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域連絡会に管理者が代表で参加している為、他のスタッフが参加する認識がなかった。 ・内部研修や外部研修があることは知っているが、週 2 回の勤務ということもあり参加できないことが多いが、他のスタッフの研修資料等を読んで努力はしている。 ・内部・外部研修に参加しているが、資格取得のための研修には参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・地域連絡会の開催日程等を事前に把握し、全スタッフに伝え、管理者だけではなく他のスタッフも参加できるように取り組む。 ・勤務形態にかかわらず、自発的に研修に参加できるよう研修案内を今後も提示し、参加できるようスタッフ同士で声掛けをおこなう。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 30 日 (17:00 ～ 19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー (常勤) 末廣恵・浅野吉子・太田梨紗・川浦明弘
(非常勤) 篠田和代・京極一枝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6				6
②	虐待は行われていない	6				6
③	プライバシーが守られている	5	1			6
④	必要な方に成年後見制度を活用している				6	6
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6				6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・介護に関わるスタッフとして身体拘束や虐待に関する正しい知識をもっており、絶対におこなうことがないよう常に心がけて支援している。 ・個人情報が記載された書類等は、鍵付の書類庫に保管している。 ・利用者様のプライバシーにかかわる支援をする際や口頭で情報を伝達する際など、注意をはらい支援するようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・これまで登録利用された利用者様の中で成年後見人制度を活用する人がいなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
今後も利用者様の尊厳を保持できる支援をおこなえるように、定期的に身体拘束・虐待・プライバシーに関する研修に参加し事業所で話し合う。又、成年後見人制度についても詳細を把握・理解できるような研修をおこない、知識をふかめられるようにする。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会医療法人三宝会	代表者	三木 康彰	法人・事業所の特徴	住み慣れた街で「鶴・亀のように健康で元気で楽しく長生きでその人らしく地域で普通に暮らす」という理念のもと、一人一人の気持ちに寄り添い、共感し利用者様が笑顔で暮らせるように支援している。
事業所名	北加賀屋1丁目の つるさんかめさんの家	管理者	末廣 恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4人	1人	1人	1人	人	4人	3人	14人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			・細かいところまで記入されていてきちんと評価をしたことが分かる。 ・名前を見ただけでは、常勤スタッフかどうか分からない。 ・アンケートが難しい	・地域の方に事業所内の活動報告やスタッフの紹介をわかりやすく情報発信していく。 ・事業所自己評価（1～9）項目の改善計画を実行していく。
B. 事業所のしつらえ・環境			・新しい施設でにおいもなくきれいだと思う。 ・町会役員は定期的に訪問しているが、地域の人や家族がはいりやすいかどうか分からない。 ・家族としては特に入りにくいと思ったことはない。窓が大きく玄関に入る前に施設の中が見えるので、どんな風にすごしているのかよくわかる。	今後も清潔をたもち、家族様や地域のかたが気軽に施設に入れるようにしていく。
C. 事業所と地域のかかわり			・よく挨拶をしてくれている ・町会役員以外の地域住民に知られているのかは分からない ・実際のところ、地域からの相談があるのか分からない ・地域の行事に参加してくれていると思う。回覧板で地域の予定が分かる為、イベントに参加しやすい。	認知症カフェ（ひまわりカフェ）を通じて、気軽に介護相談ができる場所提供をしてより多くの地域住民の方に事業所のことを知ってもらえるように活動する。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み			・ご近所の心配なかたに実際にかかわっているのかわからない。そのような人がいることを実際に把握できるのか？町会のほうでも困っている人を把握しきれていない。 ・町会には地域ネットワーク委員会があり高齢者支援をおこなっている。心配な人がいるのなら、お互いに連絡をとりあってはどうか？ ・自宅から通っているので閉じ込めているとは思わないが、実際の状況がわからない。	・地域の心配な方のことに関して今まで意識していなかったため、そのような方がおられた場合には地域包括支援センターと連絡を取り合いながら対応するようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み			・外部評価の内容が答えをもとめる内容になっている為、事業所でなんでもしなくてはと意識しすぎてしまうかもしれませんが、地域には包括支援センターやランチもあります。つるさんかめさんの家だけで意識するのではなく、横のつながりを大事にしながら、できることを少しずつされたいと思います。 ・地域のかたに施設を知ってもらうために、町会の会議に参加してみてはどうか？	・運営推進会議にて事業所の報告だけではなく、地域の困り事などにも目をむけるようにする。 ・町会の会議に参加できるよう検討していく。
F. 事業所の 防災・災害対策			・地域の防災・避難訓練にスタッフが参加されているが、事業所の防災訓練に地域住民が参加したことがない。 ・運営推進会議で防災訓練をしたことを聞いているが、具体的な内容は写真だけではわからない。	今後の運営推進会議の中で、具体的な防災計画を説明し、防災訓練の際には地域住民の方にも参加していただけるような方法を検討する。